



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年1月30日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 斉藤 隆 (TEL) 03-3462-8138
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,269	△12.5	294	△78.2	583	△64.2	444	△61.6
29年3月期第3四半期	9,453	△3.6	1,349	△12.0	1,629	△8.6	1,158	△26.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	32.41	—
29年3月期第3四半期	84.50	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	46,521	40,571	87.2
29年3月期	44,551	38,790	87.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 40,571 百万円 29年3月期 38,790 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	40.00	40.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,460	△6.7	700	△57.8	1,010	△48.6	700	△48.9	51.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	16,500,000株	29年3月期	16,500,000株
30年3月期3Q	2,772,257株	29年3月期	2,792,331株
30年3月期3Q	13,723,215株	29年3月期3Q	13,709,288株

(注) 当社は「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成29年4月1日から平成29年12月31日まで)におけるわが国経済は企業収益や雇用情勢が改善する中、景気は緩やかな回復基調が続いたものの、個人消費は力強さを欠き、海外経済の不確実性に対する懸念や、地政学リスクの顕在化等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(平成27年4月から平成30年3月まで)において「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた新規事業領域の確立」を基本方針として「新規事業領域の成長基盤の構築」「薬用養命酒の収益体質の維持」「生活者視点に立った事業活動を基盤としたCSR経営の推進」の各施策に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が前年同四半期を下回り、「その他商品・サービス」の売上は前年同四半期を上回ったものの、売上高は8,269百万円(前年同四半期比12.5%減)となりました。利益面につきましては、「養命酒」の売上減少により、営業利益は294百万円(前年同四半期比78.2%減)、経常利益は583百万円(前年同四半期比64.2%減)、四半期純利益は444百万円(前年同四半期比61.6%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は8,067百万円(前年同四半期比12.9%減)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、平成29年6月の改正酒税法の施行に伴う価格の適正化によって、店頭販売価格が上昇したことや需要期である冬場においても特売が実施されなかったこと等により売上が減少しました。また、平成29年6月に商品価値の向上とお客様の利便性向上のため、商品パッケージのリニューアルを行いました。広告キャラクターとして藤井隆さん・乙葉さん夫妻を起用し、新規顧客の獲得と継続飲用者の維持に向けてテレビスポット広告等の各種広告を実施し、広告と連動した店頭における販売促進活動を展開したものの、国内における「養命酒」の売上高は6,243百万円(前年同四半期比18.1%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、商品理解の促進と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先(台湾・香港・マレーシア・シンガポール)の市場環境に即した販売促進活動を実施しました。売上高につきましては、商戦期である春節向けの出荷時期が昨年より遅れること等により、238百万円(前年同四半期比24.5%減)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は6,482百万円(前年同四半期比18.4%減)となりました。

<その他商品・サービス>

「酒類」につきましては、「フルーツとハーブのお酒」のコンビニエンスストアへの販路拡大や販売促進施策を実施しました。また、同商品の新フレーバー追加や「はちみつのお酒」等の新商品を投入しました。「ハーブの恵み」「琥珀生姜酒」「高麗人参酒」の「健康のお酒」シリーズ等については「温活」をテーマとした営業活動を強化しました。酒類全体では、美容と健康を訴求した売場提案や販促物による店頭露出の拡大、ウェブキャンペーンを実施し、売上高は658百万円(前年同四半期比32.7%増)となりました。

「エイジングケア商品」につきましては、「生姜黒酢」「高麗人参黒酢」の発売、「グミ×サプリ」の商品リニューアルと販路の拡大、「食べる前のうるる酢ビューティー」の新フレーバー追加を行いました。また、郵便局でのカタログ販売の取扱商品の拡充、保険薬局での「養命酒製造の黒酢」の販売も寄与し、売上高は412百万円(前年同四半期比26.8%増)となりました。

「くらすわ・養命酒健康の森」につきましては、レストラン、通信販売、養命酒健康の森の売上が堅調であり、売上高は467百万円(前年同四半期比5.4%増)となりました。

以上の結果、「酒類」「エイジングケア商品」「くらすわ・養命酒健康の森」にその他の売上が合算し、「その他商品・サービス」全体の売上高は1,585百万円(前年同四半期比20.4%増)となりました。

② その他

鶴ヶ島太陽光発電所と不動産賃貸の売上が合算し、売上高は202百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,970百万円増加し、46,521百万円となりました。これは主に有価証券が1,399百万円減少した一方で、売掛金が623百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式の時価評価の増加等により2,596百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ188百万円増加し、5,949百万円となりました。これは主に未払法人税等が137百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が296百万円それぞれ減少した一方で、保有株式の時価評価の増加等により繰延税金負債が787百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1,781百万円増加し、40,571百万円となりました。これは主に四半期純利益444百万円の計上及び配当金550百万円の支払により利益剰余金が105百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が1,859百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)の業績予想につきましては、平成29年10月11日に発表いたしました通り、売上高11,460百万円、営業利益700百万円、経常利益1,010百万円、当期純利益700百万円となる見込みであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,938,118	4,533,051
売掛金	2,573,554	3,196,815
有価証券	2,700,091	1,300,152
商品及び製品	553,590	418,815
仕掛品	164,568	154,347
原材料及び貯蔵品	941,122	986,982
その他	162,748	355,349
流動資産合計	11,033,794	10,945,515
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,300,067	3,255,565
その他(純額)	3,000,645	3,157,477
有形固定資産合計	6,300,713	6,413,043
無形固定資産		
	362,720	305,782
投資その他の資産		
投資有価証券	17,804,192	20,133,464
長期預金	5,600,000	5,300,000
その他	3,455,173	3,429,014
貸倒引当金	△5,074	△5,074
投資その他の資産合計	26,854,291	28,857,405
固定資産合計	33,517,724	35,576,230
資産合計	44,551,518	46,521,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	364,723	269,166
未払法人税等	137,854	—
賞与引当金	211,067	97,878
その他	1,600,641	1,275,110
流動負債合計	2,314,286	1,642,154
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	3,398,607	4,259,394
固定負債合計	3,446,957	4,307,744
負債合計	5,761,244	5,949,899

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	690,705	690,705
利益剰余金	36,415,386	36,309,784
自己株式	△5,002,579	△4,975,884
株主資本合計	33,753,511	33,674,604
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,036,470	6,896,140
繰延ヘッジ損益	292	1,101
評価・換算差額等合計	5,036,762	6,897,242
純資産合計	38,790,274	40,571,846
負債純資産合計	44,551,518	46,521,746

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,453,134	8,269,878
売上原価	3,133,611	2,992,724
売上総利益	6,319,522	5,277,154
販売費及び一般管理費	4,969,975	4,982,380
営業利益	1,349,546	294,773
営業外収益		
受取利息	27,740	28,142
受取配当金	239,143	253,069
その他	23,779	18,057
営業外収益合計	290,664	299,269
営業外費用		
支払利息	9,362	9,893
その他	1,404	707
営業外費用合計	10,767	10,600
経常利益	1,629,443	583,442
特別利益		
投資有価証券売却益	—	40,280
特別利益合計	—	40,280
特別損失		
固定資産除却損	13,243	14,888
特別損失合計	13,243	14,888
税引前四半期純利益	1,616,200	608,834
法人税、住民税及び事業税	422,000	153,000
法人税等調整額	35,710	11,048
法人税等合計	457,710	164,048
四半期純利益	1,158,489	444,786

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。